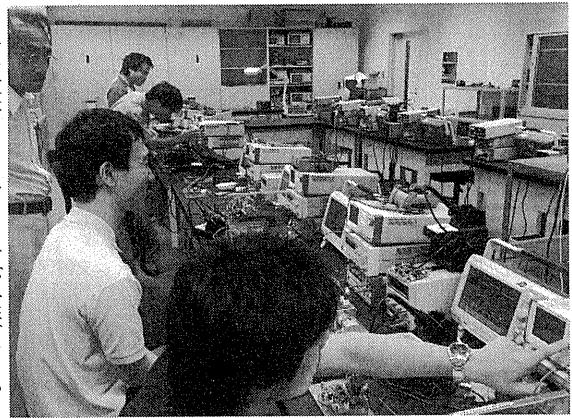


2013年(平成25年)7月25日(木曜日)

# IJRCモデルの4年間で1000人以上が受講



今年もすでに昨年を上回る21社 268人が受講を決めている

群馬大学アナログナレッジ養成拠点(桐生市天神町、山越芳樹事業実施責任者)が文部科学省の支援を受け、受講が決まるなど好評実施しているアナログ回路技術者の養成がスタートした。これまでの4年間で、1000人以上の技術者養成は国内製造業者の競

## 群馬大学アナログナレッジ養成拠点 回路技術者講座が好評

争力を維持していく上で不可欠となつてお

り、大学の事業として継続していく方針だ。

本県は以前から大手電機や自動車関連メーカーの生産拠点が集積しており、アナログ半導体集積回路技術の先進県でもこうした強みを生かすと、10

年ほど前から同分野を

重視育成産業に掲げて

おり、同講座も07年に

県が同大学に委託して

実施した「アナログカ

レッジ」を継承する形で09年から行っている。

内容は基本を踏まえ

つつも企業ニーズを反

映し、毎年進化させて

おり、今年は「システ

ム・電子回路設計」「メ

カトロニクスシステム

回路設計」「雑音対策

など5分野16講座(座

本学9・実習7)で構成。

当しておらず、今年度は

ノイズ対策の需要が高

まる中、関連の3講座

を新たに追加した。

すでに7月までの

アナログナレッジ養

成拠点・保合和男客員

教授の話 文科省の

補助は今年度で終わる

が、これまでに培つて

きたノウハウや豊富な

教材は今後も生かせる

と思う。来年度以降も、

大学としてアナログ回

路技術者の育成に協力

していくよう計画中

ledge) で確認でき  
る。  
また、こうした定期

## 個別企業対応の出前講座も